

笑いの芸術

# 野村万作・萬齋 狂言公演

泣尼 石田 幸雄



泣尼 野村 萬齋



鎌腹 野村 万作



とき

令和7年

10月31日(金)

開場 午後6時 開演 午後7時

ところ

東京エレクトロンホール宮城  
大ホール



人間国宝

野村 万作



野村 萬齋



野村 裕基



石田 幸雄

入場料  
(全席指定)

S席 6,000円税込み

A席 4,500円税込み

学生席 1,500円税込み

前売券発売日

令和7年6月27日(金)午前10時～

※学生席は東京エレクトロンホール宮城のみでの販売となります。ご購入時学生証をご提示ください。  
※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

プレイガイド

藤崎、東京エレクトロンホール宮城、  
河北チケットセンター TEL.022(211)1189【平日午前10時～午後2時】、  
チケットぴあ(Pコード: 534-730)、ローソンチケット(Lコード: 22629)

お問い合わせ

●東京エレクトロンホール宮城 / TEL.022(225)8641  
●河北新報社 事業部 / TEL.022(211)1332【平日午前10時～午後5時】

※東京エレクトロンホール宮城では、インターネット・電話予約を受けております。チケットは、最寄りのセブンイレブン又は東京エレクトロンホール宮城の事務室窓口でお引き取りいただけます。(https://miyagi-hall.jp/)

泣尼

僧 野村 萬齋

施主 高野 和憲  
尼 石田 幸雄  
後見 月崎 晴夫

狂言

鎌腹

太郎 野村 万作

仲裁人 飯田 博治  
妻 深田 聡史

狂言

鉄輪

野村 裕基

地謡 岡 聡史  
内藤 修一  
福田 成生

解説 野村 萬齋

休憩 二十分

※出演者は予告なく変更になる場合がございます。

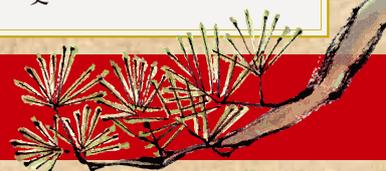
主催

公益財団法人 宮城県文化振興財団  
株式会社 河北新報社

共催



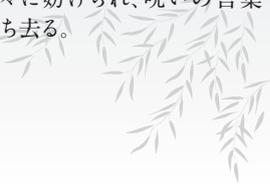
みやぎ県民文化創造の祭典  
実行委員会



## 小舞 鉄輪

かなわ

謡曲「鉄輪」の後場を狂言小舞謡にしたもの。夫に捨てられた女が生霊となり、新妻の髪を手にかからめ打ち叩いたりした末、男の命を取ろうと責め寄るが、神々に妨げられ、呪いの言葉を残して立ち去る。



## 狂言 鎌腹

かまばら

怠け者で仕事に行かない太郎。怒った妻は鎌を縛り付けた棒を振りかざし追い回す。仲裁人が止めに入るが、太郎はこんなに侮辱されるくらいなら、妻の目の前で腹を切ろうとする。ところが妻は、やれるものならやってみると捨てゼリフを残し立ち去ってしまう。一人残された太郎は…。

後に引けなくなった男の運命は？ 虚栄心と生への執着心が交差する、シテの演技が見どころです。

## 狂言 泣尼

なきあま

親の追善のために堂を建立した田舎者が僧に説法を頼みに来る。高額な布施につられて引き受けた僧だが、実は説法があまり上手くない。下手な説法を引き立たせようと、いつも泣き役として雇っている涙もろい尼を連れて行くことにする。準備万端整った説法が始まるが、肝心な時に尼が居眠りを始め…。

説法の場面では客席も聴衆に見立てられる形になりますので、ぜひ皆さんも耳を傾けてみて下さい。僧と尼の有り様に、狂言の鋭い風刺的な視点が感じられる曲です。

## 主な出演者の紹介



野村 万作

のむら まんさく

1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者。日本芸術院会員。23年文化勲章を受章。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。3歳で初舞台。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ品格ある芸で国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。芸術祭大賞、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、中日文化賞、ニューヨーク・ジャパンソサエティ賞等受賞多数。24年度NHK放送文化賞受賞。早稲田大学芸術功労者、練馬区名誉区民。「月に憑かれたピエロ」「子午線の祀り」「法螺侍」「敦一山月記・名人伝一」等、狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。後進の指導にも尽力。著書に「太郎冠者を生きる」(白水社ブックス)、「狂言を生きる」(朝日出版社)等。練馬文化センター名誉館長。



野村 萬斎

のむら まんさい

1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に出演する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、「敦一山月記・名人伝一」「マクベス」「子午線の祀り」「能狂言「鬼滅の刃」」「ハムレット」はじめ古典の技法を駆使した作品の演出など、現在の日本の文化芸術を牽引するトップランナーのひとりとして幅広く活躍。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞千田是也賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞、松尾芸能大賞等受賞多数。24年度坪内逍遙大賞を受賞。石川県立音楽堂アーティストック・クリエイティブ・ディレクター、東京芸術大学・日本大学芸術学部客員教授。(公社)全国公立文化施設協会会長。



野村 裕基

のむら ゆうき

1999年生。野村萬斎の長男。祖父・野村万作及び父に師事。慶応義塾大学法学部卒業。能楽協会会員。3歳の時「鞍馬」で初舞台以来、国内外を問わず多数の舞台に出演。「三番叟」「奈須と市語」「釣狐」を既に披く。狂言師として伝統芸術の骨格を守りつつ狂言の魅力を探求し、舞台「ハムレット」(野村萬斎演出)や「能狂言「鬼滅の刃」」等、新たな試みでも活躍する。朝日カルチャーセンター狂言クラス、早稲田大学・東京大学の狂言サークルを指導。



石田 幸雄

いしだ ゆきお

1949年生。野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。すでに数多くの優れた舞台歴を持つ「万作の会」の重鎮。「三番叟」「釣狐」「花子」等の大曲を既に披演し、国内外で狂言・能公演に多数参加、普及に貢献している。06年「雙ノ会」で芸術祭大賞、11年観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。大胆かつ緻密な演技で、古典はもとより「敦一山月記・名人伝一」「国盗人」(野村萬斎演出)など新しい試みの舞台でも存在感を見せる。23年より「狂言師「石田幸雄」のソロ活動」で一人舞台にも取り組む。普及公演での的確な解説にも定評がある。

## 笑いの芸術「野村万作・萬斎 狂言公演」プレセミナー

日時

令和7年 **10月16日(木)**  
18:30 ~ 19:30 (開場17:30)

会場

東京エレクトロンホール宮城  
6階601大会議室

講師

万作の会 **石田 幸雄**

上演される演目の内容や狂言の歴史等について知識を深め、日本の古典芸能に親しんでいただくことを目的としたセミナーです。

受講料

■全席自由 **500円(税込み)**

■受講定員 / 100名程度

■募集期間 / 令和7年6月27日(金) ~  
定員になり次第受付終了

■申込方法 / 東京エレクトロンホール宮城  
窓口のみでの販売(受講券発行)